

2013年5月14日

日本維新の会共同代表
大阪市長
橋下徹 様

橋下氏は公人失格、「慰安婦制度は必要」「風俗業活用」の女性じゅうりんの暴言に怒りを込めて抗議します

新日本婦人の会中央本部
会長 笠井貴美代

5月13日、橋下徹大阪市長が「『慰安婦』制度は必要だ」「(沖縄で米海兵隊司令官に)もっと風俗業を活用してほしい」と述べたことに、国内外から驚きと抗議の渦がまきおこっています。新日本婦人の会は、女性の人権をここまでふみにじって恥じない暴言に、満身の怒りを込めて強く抗議し、もはや公党の代表、市長、政治家として失格であることを厳しく指摘します。

日本軍「慰安婦」問題は、侵略戦争のなかで女性の人権を極限までじゅうりんした「性奴隸」制度であり、人権侵害の戦争犯罪として、世界から日本政府に一日も早く責任を認め、謝罪することが求められている問題です。橋下氏がこれまで安倍首相とともに、この歴史の事実をゆがめてきたことは広く知られていますが、さらにこの制度を「必要だ」とまでエスカレートさせたことは、国際社会に通用しない暴言です。

「風俗」発言も、米軍基地の性暴力の被害根絶の声を上げ続けている、沖縄をはじめ各地の女性・国民を冒涜するものです。

女性をもっぱら性の対象としてしかみない政治家が、市民・国民の人権など守れるはずはありません。

橋下氏に、これまでの暴言の撤回と謝罪、公党代表と市長の辞任を重ねて強く求めます。